

令和3年度 横浜市立浦島小学校 学校説明会



- 1 校長あいさつ
- 2 本年度の教育活動（変更点）
 - ① 日課表について
 - ② あゆみについて
- 3 中期学校経営方針について

○中期学校経営方針は、学校ホームページに掲載します。

○学校説明会の動画をアップしています。

1. 校長あいさつ

今年度は4月からのスタートになり、日課表も一部修正を加えておりますが、例年に近いものとししました。また、学校行事も修正を加え、実施の予定で進めてまいりました。しかし、昨今の新型コロナウイルスの感染状況により、神奈川県にまん延等防止措置が発令されるなどして、計画の変更や中止をすでに余儀なくされている状況があります。

このような状況の中ですが、昨年度から新学習指導要領が全面実施され、本校でも「自分づくりに関する力」「課題を解決する力」の二つを児童に育てたい力として教育活動を創り上げております。今年度も感染予防対策をとりつつ前進する学校でありたいと考えております。

昨年为学校再開後は保護者の皆様のご協力、児童のみなさんの努力もあり再度の休校という事態にはなりませんでしたが、感染のリスクは依然として高く、いつ、だれが感染するかわからない状況です。本校では「横浜市におけるGIGAスクール構想の方向性」をもとに、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急事態においても、ロイロノートの活用、WEB会議システムや動画配信サービスの利用ができるように、教職員の研修を進め、新しいコミュニケーションの取り方や授業の実施について積極的に活用を考えております。

まだまだ、先の見えない毎日ですが、いまできることから確実に前に進んでいくことが大切です。そのためにも保護者の皆様には、引き続きのご協力をよろしく願いいたします。

2. 本年度の教育活動（変更点）

① 日課表について

変更点は主に四点あります。

1つ目は朝の学習スタートが8時30分になったことです。2つ目は中休みの後に掃除を行うことになったことです。3つ目は下校時刻が早まったことです。4つ目はクラブ活動と委員会活動が水曜日に行われるようになったことです。これらの変更を行ったことで、朝のスタートから帰りまでの流れが曜日によって変わることがなく子どもたちがこれまで以上に落ち着いて生活することができています。

日々の授業時間にも変更がありました。1年生から3年生が水曜日の授業時数を4時間までとしたことで下校時の安全確保につながると考えています。その他にも細かい修正がありましたが、すでに配布されている各学級の時間割でご確認いただけたらと思います。

浦島小日課表基本							
		月	火	水	水 クラブ委員会	木	金
8:20	朝の時間	朝会（放送） 朝の会	朝の会	朝会（放送） 朝の会	朝会（放送） 朝の会	朝の会	読み聞かせ 朝の会
8:30	1						
9:15		準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間
9:20	2						
10:05		中休み	中休み	中休み	中休み	いらいらタイム あてむらタイム	中休み
10:25		掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
10:40	3						
11:25		準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間	準備移動時間
11:30	4						
12:15		給食	給食	給食	給食	給食	給食
13:00		昼休み	昼休み	昼休み	片付け 帰りの会	昼休み	昼休み
13:20					移動		
13:25	5						
13:30							
14:05		準備移動時間	準備移動時間		クラブ活動 委員会活動	準備移動時間	準備移動時間
14:10				帰りの会			
14:15				下校開始			
14:20	6			下校完了			
14:30					クラブ委員終了		
14:40					下校完了		
14:55		帰りの会	帰りの会			帰りの会	帰りの会
15:05		下校開始	下校開始			下校開始	下校開始
15:10		下校完了	下校完了			下校完了	下校完了

下校完了時刻	1～4年	1・2年	1～3年	3～6年	1～4年	1・2年	1年
	14:20	14:20	13:30	14:20	13:30	14:20	14:20
	15:10	15:10	14:20	14:20	14:40	15:10	15:10
					クラブの音		
					1～3年		
					4～6年		
下校チャイム	15:05	15:05	14:15	14:30	15:05	15:05	

② あゆみについて

昨年度より、変更になった点について4つ説明させていただきます。

1つめは、教科の観点別評価についてです。学習指導要領の改訂により、すべての教科の観点別評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に統一されることになりました。

2つめは、高学年の外国語についてです。これまで外国語活動として文章表記で評価していましたが、教科化にともない、国語や算数と同じように3段階にて評価します。1年生から4年生までは、これまでと変わらず、文章表記での評価となります。

3つめは、学習全体の所見についてです。浦島小学校の子どもたちに育てたい力（自分づくりに関する力・課題を解決する力）について、特に力を発揮しているものについて記述しております。

4つめは、あゆみの表記内容についてです。前期のあゆみでは、各教科における観点別評価のみをお伝えし、後期のあゆみでは、観点別評価に併せて、学習全体の所見と外国語活動や総合的な学習の時間も文章表記で評価いたします。

お子さんと一緒に「あゆみ」をご覧ください、お子さんの励みになるようなお声かけをお願いできればと思います。

令和 年度 後期

横浜国立浦島小学校

年 組		児童氏名	
国 語	各教科の学習のようす	総合的な学習の時間(浦島の時間)のようす	
	知識・技能		学習状況
	思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度			
社 会	知識・技能	特別活動のようす	
	思考・判断・表現		状況
	主体的に学習に取り組む態度		学習活動
算 数	知識・技能	児童会活動	
	思考・判断・表現	クラブ活動	クラブ
	主体的に学習に取り組む態度	学校行事	
理 科	知識・技能	行動のようす	
	思考・判断・表現		状況
	主体的に学習に取り組む態度		基本的な生活習慣
音 楽	知識・技能	健康・体力の向上	
	思考・判断・表現	自主・自律	
	主体的に学習に取り組む態度	責任感	
図 画 工 作	知識・技能	創意工夫	
	思考・判断・表現	思いやり・協力	
	主体的に学習に取り組む態度	生命尊重・自然愛護	
家 庭 科	知識・技能	勤労・奉仕	
	思考・判断・表現	公正・公平	
	主体的に学習に取り組む態度	公共心・公徳心	
体 育	知識・技能	所 見	
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外 国 語	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

3. 中期学校経営方針について

今年度も8つの重点取組目標を掲げて取り取り組んでいきます。それぞれの項目ごと、説明します。

(1) 生きてはたらく知

① 情報機器を有効に活用した授業の在り方を幅広く研究していく。

⑤ 先生が送った資料を受け取る

先生が授業中に送ったカードは、【送る】ボタンから何度でも取り出すことができます。



1. 【送る】ボタンを選択します。新しいカードを受信していると赤いマークが付きま
2. タイムラインに先生から送られた資料が表示されます。
3. 取り出したい資料を選択して、【使用する】を選択します。



② 学習指導要領に基づいて、教育課程全体で育成を目指す資質・能力を意識し、教科間の相互の関係付けや横断を図った年間の学習プランを立て、実践し、改善する。

①今年度の浦島小学校では、「浦島小学校のGIGA スクール構想の実現に向けて～タブレット端末環境を活かした授業づくり」という研究主題をかかげています。本年度から横浜市では、一人一台端末での授業が始まります。学校としてどのような形で使っていくのか、学習にどのような形式で使うと効果があるのか、そのようなことを、研修や実践を通して学んでいきます。

例えばロイロノートという学習支援アプリがあります。(スライド)これは、授業において、双方向授業や、思考の可視化を押し進めるものです。一斉に動画や画像などの資料を配布し、それを教師も子どもも同時に見ながら授業を行えます。また、子どもたちが自分のノートを写真に撮って教師が一斉に回収し、一覧にしてみることがもできます。いくつかの考えを比較したり、新たな自分の考えを導き出したりといった、見える授業を行うことなどが考えられます。

本年度は初年度として、教師も子どもも、どのような使い方が自分たちに適しているか、一緒に考えていければと思います。

②本校で育てたい資質・能力を「自分づくりに関する力」と「課題解決能力」とし、それらの実現のために、教育課程づくりを行っています。「何ができるようになるか(育成を目指す資質能力)」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どのように支援するか」「何が身に付いたか」「実施するために何が必要か」の視点で、各教科等の指導計画を作成し、それを実施・評価し改善していくことを繰り返しています。

(2) 豊かな心の育成

①相手意識をもって1年間継続的にあいさつができるように、年間計画を立て、定期的な振り返りと目標設定をする機会をつくる。



②年間を通して、資質能力を明確にした定期的なたてわり活動を行う。異学年との交流を深め、他者との関わり方を学ぶとともに相手のことを考えて行動する力や思いやりの心を育む。

① 昨年度の学校評価アンケートの結果から、子どもたちと大人、または大人の中で、あいさつができていないという規準にずれがあることが見えてきました。そこで、今年度は登校時の「おはようございます。」下校時の「さようなら。」この2つを確実に指導していこうということになりました。

「あいさつから始まるきもちいい1日～笑顔で元気よくあいさつしよう～」という浦島丘中学校ブロックでのテーマも踏まえ、「進んで誰に対しても気持ちよく」という今までの目標も引き続き指導していきたいと思えます。ご家庭でも折に触れてあいさつの大切さをお話いただけたらと思います。

②年間を通して、異学年の交流を深められるようなたてわり活動を行います。本校のたてわり活動は、たてわり遊び、たてわり集会、たてわり全校遠足の3つあります。たてわり遊びは、年に8回あり、6年生を中心に各クラスで遊びをします。たてわり集会は、年3回あり、全校遠足の計画を立てたり、6年生のためにメッセージカードの作成をしたり、お祝いの会をしたりします。たてわり全校遠足は、年に1回あります。反町公園に行き、たてわりクラスでポイントラリーに取り組みます。

これらの活動を通して、他者とのかかわり方を学ぶとともに、相手のことを考えて行動する力や思いやりの心を育んでいきます。

(3) 健やかな体

①児童自らが自分たちが健康に過ごすために大切なことを考え、行動に移していけるように工夫する。

①浦島小では、子ども自らが健康について考えられるように、すくすく会議を行っています。すくすく会議とは、代表の子どもたちが健康についてのテーマを決め、話し合いを行う会議のことです。会議で決まったことをもとに、各学級で取り組みを決め、実践につなげています。また、現在の状況を踏まえ、新しい生活様式を

②いきいきタイムでは、長縄や短縄、ペース走に取り組み、運動への興味関心を高めるとともに、体力の向上と健全な心身の育成を図る。

実践し、子どもたちが安全に、安心して生活できるように指導しています。

②横浜市では、子どもたちの体力の向上を目的とし、全ての学校で、体力を高められるような活動を行っています。浦島小では、いきいきタイムがそれにあたります。いきいきタイムでは、短縄・長縄・持久走に取り組んでいます。5月から11月までは短縄と長縄を、12月から2月までは持久走と長縄を行っています。どの活動もめあてをもって取り組むことができるように、学習カードを活用しています。子どもたちの興味関心を高められるように、短縄の技紹介DVDを流したり、持久走の記録会を行ったりしています。

(4) 児童生徒指導

①職員会議、児童指導部会での情報の共有を図るとともに、関係機関の協力を得て、本校の児童の実態に応じた研修を充実する。児童指導年間計画に基づき全校でぶれない指導を行っていくことができるように、学年研究会などで定期的に振り返りを行う。

①保護者の皆様にもお配りしています「かめのこルール」をもとに一貫した指導を行っています。●組はよくて▽組はダメなどのずれをなくすためです。ずれは子どもたちの不信感や不満をつのらせます。一貫した指導を行うことで子どもたちの安心安全な学びの場をつくっています。また、児童指導年間計画をもとに見通しをもった指導を行っていくようにしています。

横浜市立浦島小学校 令和3年度版
かめのこルール

①登下校について

(1) 登校の仕方

- ・登校時刻に決められた通学路を歩き、登校時刻を過ぎずまもなく登校する。
- ・服装整頓や、PTAの送迎、門当警の先生に、自分からあいさつをする。
- ・昇降口は、8時5分に開くので、8時5分から15分の間に登校し、20分には着席しているようにする。
- ・静寂の維持や学校に書いてからは、悪れものなどを取りに戻らない。

(2) 下校について

- ・帰りの会が終わったら、すぐに下校する。
- ・下校するときには、安全に注意して、できるだけ反響と二輪に、寄り道をせずに決められた通学路を走る。
- ・週末には、使用した体育着・白衣・上履を持ち帰って洗い、また月曜日を持ってくる。

②校内での過ごし方について

(1) 校内生活

- ・友達・先生・学校のお客さんには、気持ちよくあいさつをする。
- ・登校したら、下校するまで学校の外には出ない。

学校HPにある「いじめ防止学校基本方針」に基づき「児童指導計画」を立てています。この計画に基に、学校行事やカリキュラムに合わせ、未然防止の観点に立った指導を行っています。

例えば、6月ごろはいじめや子供たち同士のトラブルが増えてくる傾向があるので、「集団での成功体験・達成感を生む活動」を意図的に取り入れる、水泳学習や宿泊体験学習の前には「プライベートゾーン」の指導を行うなどです。

必要に応じて、関係機関との連携を図り、充実した指導につなげられるようにしています。

保護者の皆様にもよく知られている「学校カ

令和3年度 浦島小学校 「児童指導年間計画」		【A部会】 児童指導計画に沿った指導の共通理解と情報発信 【校内いじめ防止対策委員会】 ・未然防止に向けた取り組みの発信 ・事態が発生した際のチーム対応			
教師のめあて	指導内容	いじめ防止	不登校	生活目標	学年のふり返り
4月	めざす学習意欲を子ども達と共有する ・学年内のルールづくり ・かめルールへの理解 ・約束を守りながらの学びを促す ・学年内の自主活動の仕方の徹底	○校内いじめ防止対策委員会 ・いじめ防止対策に関する共通理解 ・児童の理解交換(4月は特に1年生・転入生) ○PTA活用委員会 ・いじめ防止対策についての説明・啓発 ○保護者説明・懇話会 ・いじめ防止対策推進法について説明	○学級結束 ・教師と児童、児童と児童関係づくり ・不登校傾向児童への支援 SSWと転入生の行動観察	学校のきまりを守り、規則正しい生活をしよう	
5月	めざす学習意欲に向上しているのか子ども達と振り返り、再確認する ・教室環境整備 ・学習目標づくり ・学年内のルールについて平等に知り、評価する	○クラスや学年で自己・他者理解が深まるような活動・継続的に考えるもの	・集団になじめていない児童への支援方法検討	気持ちの良い受け答えをしよう	
6月	一人ひとりに目を向けて、職員間で共有する 1～3年生：スタート・ゴールシート、4～6年生：自らの成長を誇った成長を自分の学習・生活に生かせるように支援する。 ・「学校生活アンケート」の結果を分析し、人間関係をよくなるためのYP実施 ・バーンツルスペースについて指導 ・ルールを守れていることの評価 ・集団での成功体験・達成感を生む活動	・いじめをなくす取組をクラスで考える ・各クラスいじめをなくす取組を発表	SSW・SCと情報の共有と支援方法の検討	休み時間の遊び方を工夫しよう	
7月	子ども達と現在の学習意欲と自覚する学習意欲を共有する ・夏休み明けの学習意欲について ・学年内のルール再確認 ・一人ひとりの成長を評価	○学校生活・YPアンケート実施分析 ○YPプログラムの実施 ○インターネット教室(3～6)	長期休業前の支援	暑さにはけいない体をつくろう	

「カウンセラー」は、横浜市委託員として区役所の「子ども家庭支援課」に勤務し、臨床心理士等の資格をもち、児童、保護者との相談にあたり、専門的な立場から教職員への助言をいただいています。

学校を定期的に訪問し、学校とともに児童生徒の抱える課題の解決にあたるSSW(スクールソーシャルワーカー)は、子どもと家庭が抱える課題に対して、社会面に焦点をあてながら、受容的にかかわっています。

そのほかにも、「警察」「主任児童委員・民生委員のみなさん」「東部療育センター」など多くの機関と連携し、子どもたちの健全育成に努めています。

(5) 地域連携・学校運営協議会

① 生活科や総合的な学習などで、地域の材を生かした学習に取り組み、地域に関わろうとする態度や地域を大切にしようとする気持ちを育む。

① 生活科の学習では、通学路探検、まち探検などの学習を通して、地域の人に支えられていることに気づいたり、浦島のまちについて新たな発見したりしています。野菜作りの学習では、地域の方に協力を得て、毎年立派な野菜を作ることができています。総合的な学習の時間では、様々な活動に取り組んでいます。これまでにピオトープの調査や整備、染め物作り、紙作り、山形県の特産物の販売活動など、各学級で取り組む活動を決め、追究していました。総合的な学習のことを、浦島小では「浦島の時間」とよんでいます。

これらの活動を通して、地域に関わろうとする態度や、地域を大切にしようとする気持ちを育んでいます。

① 年3回学校運営協議会を実施し、学校教育についての理解をより深めていただくとともに、協議会での意見を教育活動の改善につなげる。

② 本校は、地域の代表の方、保護者の代表の方、学識者の方、教職員で、学校運営協議会を組織しています。今年度は、6月、12月、2月をめぐりに、委員のみなさまにお集まりいただき、協議会を開きたいと考えています。

1回目は、この中期学校経営方針についてご意見をお聞きすることを中心とします。2回目は、

	<p>授業参観をしていただき、子ども達の様子をみていただいた上で、意見交換をしたり、学校評価の取り方についてご意見をいただいたりする予定です。年度末に行う3回目は、保護者の皆様からいただいた学校評価アンケートの結果を報告し、次年度の教育活動についてご意見をいただく予定です。</p> <p>その他にも、子ども達の地域での様子をお聞きしたり、地域と学校とで連携して取り組んでいく課題等について話題にしたりしていきたいと思っています。また、今年度は、運営協議会を開いていることやその内容等について、保護者の皆さんにもより知っていただけように、発信していきたいと思っています。</p>
--	---

(6) いじめへの対応

<p>①対策委員会や児童指導部会で、未然防止のための学年風土づくりについて話題にし、学年に応じた具体的な取組を考える。</p> <p>②認知したいじめ案件を管理し、月1回の対策委員会で他学年の情報を共有し、学校全体の問題として解決に向け取り組む。</p>	<p>① ②児童指導の内容と重なる部分が多くありますが、第一に、問題が起こる前に、起こさない風土づくりに努め、未然防止に力を入れています。児童指導の活動を計画的に行うと共に、横浜プログラムの推進、人権教育、道徳教育の推進、情報モラル教育の推進、児童理解研修の実施なども行っています。子ども達一人ひとりが、集団の一員としての自覚や自信をてるような指導を行い、互いを認め合える人間関係・学校風土をつくっていけるように最善を尽くしていきます。</p> <p>しかしながら、集団生活の中ではトラブルや喧嘩、いじめ等が起きてしまうことがあります。そのような状況を早く発見することができるように、児童面談や、各種アンケートの実施を行っています。気になることがあった場合は、チームでの対応を行います。まず、いじめなどを把握した時点で、担任、学年主任、児童指導専任、管理職、必要に応じて養護教諭で対策チームを結成し、聞き取りの仕方や心のケアなどについて話し合いをします。そして、被害を受けてしまった児童の心に寄り添い、保護者の方とも相談しながら対応を進めていきます。解決し</p>
---	--

	<p>たあとも見守りを続け、その後の状況を本人と適宜確認したり、保護者の方と連絡を取り合ったりして、安心して学校生活を送ることができるようにします。また、いじめへの対応については、対策委員会などで学校全体の問題として共有し、職員全員で子どもたちを見守っていくことができるようにしていきます。</p> <p>保護者の方々の見守りも大変重要なものです。子どもたちの変化等気になることがあれば引き続きお子様への声がけをお願いします。また、学校にもお知らせいただければ幸いです。</p>
(10) 特別支援教育	
<p>① さわやか教室や国際教室の取り出し指導を効果的に行い、配慮を要する児童への指導・支援を充実させる。</p> <p>② 一人ひとりに合った指導・支援を充実させるために、学校カウンセラーや関係機関を連携し、教職員の特別支援教育への知識・理解を深める。</p>	<p>① 特別支援教育は、子ども達一人ひとりが自己肯定感を高めていくこととできるように、学校全体で一人ひとりの状態に応じた適切できめ細やかな指導・支援を行うことを目的としています。</p> <p>さわやか教室は、学習に支援が必要な子どもを対象とし、国際教室は、外国につながる子どもを対象とし、一人ひとりの学習状況に応じて補充的な学習を行っています。この教室で学んだことを生かして、自信をもって教室での授業に取り組めるようにしていきたいと思えます。</p> <p>② 特別支援に関わる研修を年間の中で適宜設定しています。集団の中での一人ひとりのみとり方や特別支援についての知識を学んだり、具体的な支援の在り方について考えたりすることで、教職員の指導力を高めています。</p>
(6) 人材育成・組織運営	
<p>① 年間を通してメンター研修(若手教員の研修)を行い、授業力など教職員としての力をより高めていく。</p>	<p>① 浦島小では、経験年数が6年目までの教員がチームになり、月に一度の研修を行なっています。研修の内容は、主に、研究授業、教室探検、先輩教員からの指導などがあります。</p> <p>研究授業では、教師の発問や黒板の記述内容など、様々な角度から検討し、授業を実践します。教室探検では、お互いの教室を見合い、環境づくりの工夫について情報交換しています。実技指導では、実技指導だけではなく、学級経</p>

<p>②全学年で教科分担制を取り入れ、授業づくりの力を高めたり、協働して学年経営にあたりたりする。高学年では、チーム学年経営を研究し、授業力の向上や学級経営力の向上、時間の有効な活用方法の在り方について追究する。</p>	<p>営で気を付けるべきことや、社会人としてのマナー講座など、先輩教員から様々なことを学んでいます。学んだことは、日々の教育実践で生かしています。</p> <p>②浦島小学校では、全学年で教科分担制を取り入れています。主なねらいは2つです。1つ目は、学年全体の子どもたちを指導し全体を見ていこうとする教師の意識を高めることを通し、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるようになること。2つ目は、一つの教科を専門的に教師が指導することで、授業の質を高め、子どもの学力を向上させていくこと。です。また、高学年においては、チーム学年経営の研究に取り組んでいます。これは、「児童の学力向上」「児童の心の安定」「教員の育成と働き方改革」をねらいとした教育委員会の指定を受けて取り組んでいるものです。浦島小学校では、「教師の授業力と学級経営力の向上」という研究テーマのもと、授業を見合ってアドバイスしたり、黒板に書く内容を共通理解したりと、具体的な取り組みを進めています。</p> <p>これらの取り組みを通して、組織として子どもを育てていくことができるようにしています。</p>
---	--